

青年版 個別経営体 1

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
露地野菜 専作 (ねぎ)	畑 70a 労働力 家族 2名 うち主たる 従事者1名	所得 271万円 労働時間 3,052時間	[資本装備] ・トラクター30ps ・畦立て機 ・中耕ロータリー ・稚苗移植農具一式 ・動力噴霧器 ・防除機 ・揚水機 ・掘取機 ・半自動調製機 ・コンプレッサー ・貨物自動車 [技術内容] ・周年栽培 ・適正な品種構成 ・土づくり ・稚苗育苗 ・減農薬・減化学肥料栽培	・土地の集積 ・かん水施設 ・繁忙期パート雇用 ・半自動調製機等の 共同利用 ・家族経営協定の締結	・月給制の導入 ・休日制の導入

【算定根拠】

$$\begin{array}{rcll} \text{農業粗収益} & - & \text{農業経営費} & = & \text{農業所得} \\ \underline{603 \text{万円}} & & \underline{332 \text{万円}} & & \underline{271 \text{万円}} \end{array}$$

- | | | | | |
|---|------------------------|-----|---|--------------|
| 1 | 品目(作型・品種) | | 5 | 単位規模当たりの労働時間 |
| | 秋冬ねぎ | 50a | | 436時間/10a |
| | 春ねぎ | 20a | | |
| | | | 6 | 一時間当たりの雇用労賃 |
| | | | | 1,026円 |
| 2 | 生産量 | | | |
| | 22,750kg (3,250kg/10a) | | | |
| 3 | 単価 | | | |
| | 265円/kg | | | |
| 4 | 所得率 | | | |
| | 45% | | | |

青年版 個別経営体 2

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
施設野菜 専作 (トマト+ キュウリ)	ハウス 1,700㎡ 労働力 家族 2名 うち主たる 従事者1名	所得 276万円 労働時間 2,809時間	[資本装備] ・トラクター ・硬質プラスチック ハウス ・複合環境制御装置 ・加温装置 ・パソコン ・温風ダクト ・土壌消毒機 ・防虫ネット [技術内容] ・虫媒授粉による交 配 ・土壌分析による合 理的な施肥 ・複合環境制御と省力 化	・共同選果施設の 利用 ・販売方法の検討 ・生産と販売の分 離 ・パソコン活用による経営管理 ・機械選果による 省力化 ・家族経営協定の 締結	・作業強度の軽減 ・休日の確保

【算定根拠】

$$\begin{array}{r} \text{農業粗収益} \\ \underline{853 \text{万円}} \end{array} - \begin{array}{r} \text{農業経営費} \\ \underline{577 \text{万円}} \end{array} = \begin{array}{r} \text{農業所得} \\ \underline{276 \text{万円}} \end{array}$$

1 品 目 (作型)	6 単位規模当たりの労働時間
半促成トマト	トマト (半促成) 730 時間/10a
促成キュウリ	キュウリ (促成) 980 時間/10a
2 規 模	
トマト (半促成)	17a
キュウリ (促成)	16a
3 生産量	
トマト (半促成)	12,240 kg (7,200kg/10a)
キュウリ (促成)	16,800 kg (10,500kg/10a)
4 単 価	
トマト (半促成)	230 円
キュウリ (促成)	340 円
5 所得率	
トマト (半促成)	37%
キュウリ (促成)	30%